

## 修了評価の方法

評価基準作成者： 吉田 なち佳

評価方法及び合格基準	<ol style="list-style-type: none"><li>1 出題範囲<ul style="list-style-type: none"><li>・「(2) 介護における尊厳の保持・自立支援」から「(9) ことごとからだのしくみと生活支援技術」までとする。</li></ul></li><li>2 出題形式<ul style="list-style-type: none"><li>・筆記試験：四肢（又は三肢）択一形式、多肢選択式、穴埋め問題、正誤問題及び記述形式とする。</li></ul></li><li>3 出題数<ul style="list-style-type: none"><li>・択一問題・穴埋め問題・正誤問題・記述問題 (パターン1:5問、パターン2:6問)</li><li>・全問正解 100点</li></ul></li><li>4 合否判定基準<ul style="list-style-type: none"><li>・60点以上</li></ul></li><li>5 不合格になったときの取扱い<ul style="list-style-type: none"><li>・結果発表後、直ちに4時間の補習のうえ再試験・再評価を行う。 なお、再試験・再評価に係る合格基準は60点以上とする。 補習料：無料 再試験・再評価料：無料</li><li>・再試験・再評価を最大3回まで実施する。 なお、再試験・再評価の結果、不合格であった者には、直ちに個別指導を行い、最終試験及び論文提出により、再評価を行う。 個別指導：無料 最終試験・論文再評価：無料</li></ul></li></ol>
------------	--